



根高（コンコウ）通信

令和6年度 第1号

北海道根室高等学校

あゝ学舎よ夢多き



根室高校HP QRコード

〒087-0002

北海道根室市牧の内146番地

TEL 0153-24-4675

発行日：令和6年4月26日

基本理念：ひとづくりは学校をつくりまちをつくる

4月8日(月) 始業式での校長講話：テーマ「幸せであるための学校づくり」

おはようございます。皆さんの明るい笑顔が見れてうれしいです。令和6年度がスタートしました。

さて、先月(3月)、和歌山県のある町で、国内初となる民間企業単独で、ロケットの打ち上げがありました。発射当日、打ち上げられたロケットの機体は上昇を始めましたが、5秒後に爆発、機体の破片は落下し、内蔵されていた小型衛星も失われました。



さて、ロケット打ち上げの話題から、2つの話をします。一つ目、民間ロケットの打ち上げによるビジネスの需要は増しているといいます。なぜ、ロケットがビジネスになるのでしょうか。また、この打ち上げは、地域創生や活性化の役割を担えるものとなりうるとありました。なぜ、ロケット打ち上げが活性化となるのでしょうか。さらに、ロケットの打ち上げに関わる人や仕事にはどのようなものがあるのか、日常生活にどのような影響があるのかも考えてみると面白いのかもしれない。このように、一つの出来事や事象から、いろいろな疑問が湧いてきます。なぜ、どうして、を考えて調べてみるなど、日常生活においても「探究」してみる姿勢を持ってほしいと思います。二つ目、この民間ロケットの技術者は、ロケット打ち上げ後、次のように語っています。「一つ一つの試みから、新しいデータや経験が得られる。今後の新たな挑戦の糧(かて)となる。私たちは失敗という言葉は使わない。諦めるつもりは全くない。前に進んでいくので応援してほしい。」このように、やってみて、上手くいかなかったことや、経験をもとに、困難にめげず、挑戦を続ける姿勢をもってほしいと思います。

皆さんには、クラスの仲間、先輩・後輩、支えてくれる先生、保護者、地域の人たちがいます。困ったとき、一人で頑張るのではなく、周囲に協力を求め助けてもらうことも必要です。お互いがそんな関係にあり、そんな学校でありたいと思います。

さて、今年度の学校生活のテーマは、「幸せあるための学校づくり」です。そのために、4つの実践をしてほしい。

- 1 「自己実現・成長」 大きな目標持ち、目標達成のための学びにより、自己を成長させる(自分に対する幸せ)
- 2 「感謝・つながり」 人を喜ばせたり、感謝や親切、他の人と心の通う関係をつくる(他人に対する幸せ)
- 3 「前向き・楽観」 物事を楽観的に捉え、気持ちの切り替えをして行動する
- 4 「マイペース・独立」 他人と比較しない、自分は自分との視点を持つようにする

今、そして、これから、将来に向けて、皆さんが「幸せ」になるよう学校生活を今から実践してください。期待しています。

【1年次・生徒指導部】 コミュニケーション・トレーニングの実施

4月9日(火)、入学式から2日目、1年次と生徒指導部による標記の会が実施されました。

実施内容は、バースディ・チェーン(クラス・全体、自己紹介)、ペーパー・タワーの2本立てでした。

実施後の振り返りでは、「言葉があるとないとでだいぶ変わってしまうから言葉の大切さが分かった」「超絶面白かった」「頭を使いながら他のクラスの人とも仲良くなれた」との回答がありました。生徒指導部(担当:菅原先生)は、数ヶ月前から計画を進めてきており、定期的に実施していきたいとのこと。



令和6年度 着任者紹介 8名を紹介します

■ 木部 悟 教頭

根室高校の生徒は気さくで、先生はバイタリティがあるとの印象です。皆さんで良い学校づくりをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



■ 川原 慎介先生（商業、IE副担、美術）

生徒は落ち着いており、明るい印象です。地域との関わりを持ちながら、生徒達が自らが考えて行動できるよう支援したいです。

高校時代の1日1日を大切にしたいと思っています。



■ 高野 春希先生（国語、IB付、茶道）

人懐っこい生徒達との印象です。

高校の3年間は、成長できる時期なので、生徒達には、今しかできない、根室でしかできない多くの経験をしっかりと積んで欲しいと思います。



■ 梶浦 薫 先生（理科、2C副担、卓球）

先生方が協力的であり、良い学校ですね。多くの生徒と理科の授業でしっかりと関わっていきます。

生徒には七転八起の精神で、学校生活を送って欲しいと思います。



■ 石川 貴大 先生（英語、IC付、演劇）

小学時代、オーストラリアで居住の経験もあり、コミュニケーション力を身に付けました。英語を使って色々な活動をしてみたいと考えています。



■ 柴田 健人 先生（数学、ID付、ソフトテニス）

挨拶がしっかりできる生徒との印象です。数学を楽しく教えたいと思います。卒業後、社会で生きるための支援を行ってきたいと思います。



■ 山上 大宙 先生（国語、IC付、女子バレー）

明るくやるときはやる生徒達だと感じています。教員を志望したのは中学校の先生に影響を受けたことです。国語の授業以外にも、生徒達に寄り添い支援をしていきたいと思っています。



■ 百田 広樹 先生（保健体育、I学付、バドミントン、写真）

生徒や先生方の雰囲気が良いです。生徒が主体的に考えて皆で行動できる生徒を育てたいと思います。そのためには、先生はもとより、多くの人との関わりが大切だと思っています。



【編集後記】 着任者8名の先生方からは、生徒達の明るさ、協力的で雰囲気がよい職場であるとの言葉を頂いています（〇〇）。教育活動のテーマは、「幸せであるための学校づくり」、生徒、教職員が健康で生き生きとし過ごせる一年でありたいと思っています。皆さん、よろしくお願いします